

SNYG Extruder (減容圧縮成形機)

～3 条スクリーを使用し、高い圧縮率を実現～

新日本溶業株式会社 (神戸市)

技術の概要・特徴等

1. 強みとなる技術: 3 条スクリーを採用し高圧縮率を実現した減容機です。

従来、固化が困難な例えば、含水率 20%以上の材料もいままでにない高圧縮・高密度な成形固化を実現します。

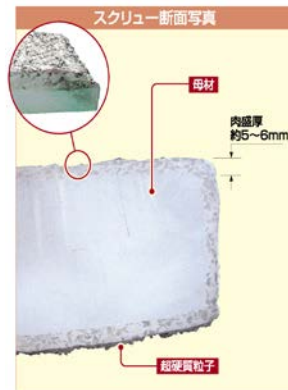
また、1 条スクリーを使用することも可能で、押し出しノズルの数も自由に交換できるため、圧縮率や生産量の調整も可能であるマルチな減容機です。



写真 1: 1 条スクリー



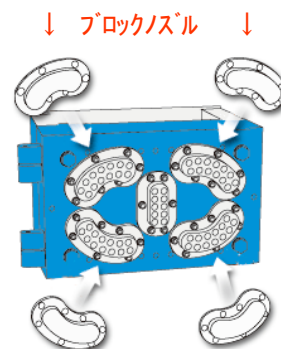
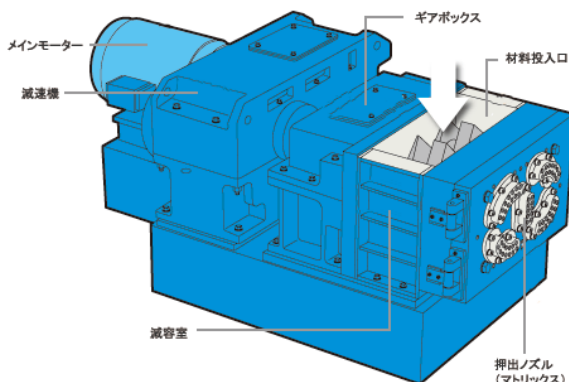
写真 2: 3 条スクリー



成形機主要消耗部品は、当社オリジナル耐摩耗材 ROCK-WEL で硬化肉盛しており、驚異の連続稼働を実現します。

2. 強みとなる技術を用いた製品の特徴

- 2 軸の 3 条スクリーによる減容圧縮で、今までにない高密度な固化を実現します。
- 高含水材料の成形も対応できます (高含水材を処理する場合、一般の廃棄物処理と比べ処理能力が低下します。)
- 従来品より減容部分が半分のコンパクト設計です。
- 押し出しノズル (マトリックス) の数を変えることで、圧縮率の変更が可能です。
- 押し出しノズル (マトリックス) を交換することで、様々な形状に減容圧縮成形が可能です。
- オプションのインバータ駆動に変更することにより、減容スクリーの回転数を自在に変更可能です。



【固化物排出】
押し出しノズルが交換できる！
4つのブロックタイプの押し出しノズルに交換することで、水分含有率が高い処理材を固化することが可能です。

3. 技術・製品導入の効果

- 水分含有率が 20%以上 (40%以下) のプラスチック、木材、建築系廃棄物の固化が可能です。

4. 主な仕様（高含水材及び難固化材の成形固件事例）

○製紙会社向けボイラー燃料や製鐵所向け高炉/転炉への投入材として使用できます。

写真1：パルパーかす（含水率 35%）



写真2：G-RPF（含水率 35%）



写真3：パルパーかす+スクリーンかす（含水率 45%）



写真4：グルテンフィード/とうもろこし粒外皮部（含水率 20%）



※押しノズル（マトリックス）を変えることで円形
形状～四角形、六角形の成形固化が可能です。



写真5：酸化鉄+廃トナー混合材



納入業種

○ 国内：産業廃棄物中間処理業者、製紙会社、製鐵会社

今後の事業展開方針等

○日本国内だけでなく、東南アジア向けに成形機の輸出を検討しています。

東南アジアでは、パーム油搾油後の残渣・空果房（EFB=含水 50%）や製糖工場から発生するバガス、籾殻などが大量に発生し環境問題となっています。当社機器を使用しバガス燃料として有効利用できることを機器販売と同時に提案を行っていきます。

写真：空果房/EFB



会社概要

企業名：新日本溶業株式会社 資本金：30百万円 従業員数：54名

本社住所：〒650-0047 神戸市中央区港島南町3丁目6番5号

主要営業品目：環境機器、ハードフェイスング/肉盛溶接、大型製缶ギヤ、産業機器（システム技術）

URL：<http://www.snyg.co.jp/>

本シートに関するお問合せ先

新日本溶業株式会社
業務部
黒木 加代美

住所：同上
TEL：078-306-0515
FAX：078-306-0516
E-mail：kurogi@snyg.co.jp